

教科における国際理解教育の推進に関する一提言

—スコープに基づく指導計画の作成—

義務教育研修課

はじめに

国際化の進展に伴う我が国の立場や将来を展望したとき、国際理解教育の推進が、ますます重視されることになろう。21世紀を担う児童生徒は、地球市民として、共に生きていく平和な国際社会を形成する資質や能力を養っていかなければならない。

現在、国際理解教育については、道徳や特別活動を中心に、様々な取り組みが行われている。

今後、国際理解教育をより一層充実させていくためには、日常の教科指導における意図的・計画的・継続的な指導が必要である。

本研究では、全ての教科において国際理解教育がより積極的に推進されるよう、スコープ(*)に基づく指導計画の作成方法を明らかにしながら、各教科における指導計画案の提示を試みることにした。

(*) P12 参照

1 研究テーマの設定について

(1) 国際理解教育の変遷

我が国は1951年にユネスコの加盟国となり、翌年、日本ユネスコ国内委員会を発足させ、国内における国際理解教育の推進を図ってきた。

1954年、同委員会はユネスコ第8回総会での採択を受け、我が国における国際理解教育の目標を以下のように定めた。

- 1 基本的人権の尊重
- 2 日本と諸外国との相互理解と協力
- 3 国際的協力機関についての理解と協力
- 4 世界平和の実現

その後の国際社会の変化に伴い、1974年ユネスコ第18回総会では、「国際理解、国際協力及び国際平和のための教育並びに人権及び基本的自由についての教育に関する勧告（教育勧告）」が採択された。

この勧告を受け、我が国においては国際理解教育の目標として、次の6項目を掲げた。

- 1 平和を愛する人間の育成
- 2 人権意識の涵養
- 3 自国に関する認識と国民的自覚の啓培
- 4 他国に対する認識と他文化への理解の増進
- 5 国際社会における相互依存関係の認識と人類連帯意識の形成
- 6 国際的な協力・国際協調に対する実践的態度の養成

1987年、教育課程審議会答申は、改善のねらいの一つに「国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重す

る態度の育成」を掲げ、「国際社会に生きる日本人」の育成を求めた。

現行学習指導要領ではこうした経緯を踏まえ、国際理解教育の重要性が盛り込まれ、教育活動全般における取り組みが求められている。

(2) 国際理解教育の現状と課題

このように、国際理解教育が学校教育において重視され、道徳や特別活動における様々な取り組みに成果がみられる。しかし、全体としてはやはり単発的で、体系的なものになっているとは言いがたい。

「兵庫県学校教育審議会答申」(平成2年)では、その推進上の問題点として、次の3点をあげている。

- 1 国際理解教育の重要性を認めるとしても、それが身近な問題としての切実感に乏しいので、児童生徒の関心を呼び起こすことが難しい。
- 2 冷厳な国際社会の現実の中で、抽象的で理念中心の国際理解教育では、効果を上げることが難しい。
- 3 学校での教育課程の全般にわたって実施することが望ましいが、学校教育の実際においては、そこまでの時間的余裕がない。

これらの問題点を克服し、国際理解教育を効果的に推進していくためには、教科の目標を達成していく中で、意図的・計画的・継続的な指導を充実させなければならない。そのためには、各教科において国際理解教育の視点に立ち、指導計画を見直す必要がある。

以上のような点から、本研究のテーマを設定した。

2 国際理解教育のための指導計画の作成

(1) 全体目標の設定

国際理解教育は、人権尊重の精神を基盤に、多様な価値観の中で、実践的な社会性(国際性)を培い、主体的な生き方を創造し、共生の在り方を探る教育である。その点から、国際的視野に立った文化理解と相互依存関係等を深めていくことが大切である。

そこで、本研究を進める上での「国際理解教育の全体目標」を以下のように設定した。

- 1 全ての人々が互いのよさや人権を認め合いながら協力・協調する中で、国際的な共通課題を解決していこうとする態度を養う。
- 2 我が国や他国の、文化や伝統に対する理解を深めるとともに、国際社会において共に生きる望ましい在り方について考える。
- 3 地球市民としてより良く生きるために、民主的・平和的な国際社会の形成者としての基礎を培う。

(2) スコープの設定

カリキュラムは一定の内容的な区分をもって構成され、順次的な流れの中で展開されていくものである。「スコープとは、その内容的な区分の領域ないしは範囲である。」¹⁾

国際理解教育は一つの教科でないために、スコープが明確にされていない。そこで、国際理解教育の視点に立ったスコープを設定することが必要となる。スコープの設定により、指導計画作成上の共通理解を図ることができ、国際理解教育の目標・ねらいを深化させたり、重点化することが可能になると考える。

兵庫県教育委員会が平成4年に発行した「国際理解教育指導資料」（以下、「指導資料」と略）では、国際理解に求められる資質として、以下のものをあげている。

人権尊重、差別・偏見のない心、平和希求、相互依存の認識、異質なものの理解・尊重、異文化理解、コミュニケーション能力、自己確立・自己表現、国際マナー、自国文化伝統尊重、世界共通課題の認識、相互連帯・協力

「指導資料」では、これらの人権尊重、異文化理解、コミュニケーション能力、自国文化理解と伝統の尊重、国際協力・協調の五つにまとめている。

本研究では、異文化理解と自国文化理解を一つにまとめ、以下の四つのスコープを設定した。

- スコープ1 人権尊重
- スコープ2 文化・伝統の理解と尊重
- スコープ3 国際協力・協調
- スコープ4 コミュニケーション能力

今回の研究においては、「文化・伝統の理解と尊重」「国際協力・協調」に焦点を絞り、指導計画の作成を試みた。

(3) 各スコープにおける目標の設定

各スコープにおけるねらいを全体目標に沿って定め、それぞれの学習対象を「指導資料」に基づいて、具体的に取り上げた。

また、各スコープには、児童生徒の発達段階に配慮して、小・中学校における具体的な目標を三段階に分けて表した。

これらは、指導計画を作成する際の基準となるものであり、末尾に別表1として記載する。

(4) 各教科の指導計画の作成

① 学習指導要領との関連

「指導資料」では、学習指導要領と国際理解教育の目標や内容との関連について、表1のように小・中学校の各教科を区分している。

表1 各教科と学習指導要領との関連

扱い方	小学校	中学校
全体目標に明記されているもの	社会	社会 外国語
内容及び内容の取扱いに明記されているもの	国語、音楽 体育	国語、音楽 美術、保健体育
教材の工夫等により国際理解教育を深める授業を行うもの	算数、理科 生活、家庭 図画工作	数学、理科 技術・家庭

この区分は、学習内容で大きく二つに分類できる。一方は、日々の学習において取り扱われる内容が、国際理解教育の学習内容を含んでいる教科である。他方は、教科の内容には直接含まれないものである。

後者については、各教科の教材を工夫するなど、国際理解教育に係わる内容を取り入れることにより、児童生徒の意識を高めることができると考える。

② 指導計画作成上の基準と形式

日常の学習活動において、国際理解教育を推進していくためには、主たる教材である教科書を基にした指導計画の作成が必要である。そこで、学習指導要領、「指導資料」及び別表1を基準として教科書の単元や題材を抽出し、さらに、国際理解教育に関する指導上のねらいの一つを例示することにした。

本研究では、これらを、各スコープ毎で学年別に整理したものを指導計画とする。

＜教材の選定基準について＞

小学校○○科では、学習指導要領の○○○○○に-----。

	○ 学年	○ 学年
文化・	「単元(題材)名」 ・ねらい	

③ 各教科における指導計画

本研究で作成する指導計画案については、以下（別表2～別表11）のような順序で、末尾に記載する。

- ・国語科指導計画（案）……………別表2
- ・社会科指導計画（案）……………別表3
- ・算数科、数学科指導計画（案）……………別表4
- ・理科指導計画（案）……………別表5
- ・生活科指導計画（案）……………別表6
- ・音楽科指導計画（案）……………別表9
- ・図画工作科、美術科指導計画（案）……………別表10
- ・体育科、保健体育科指導計画（案）……………別表7
- ・家庭科、技術・家庭科指導計画（案）……………別表8
- ・英語科指導計画（案）……………別表11

④ 実践のための展開例

指導計画案に基づく実践のための参考として、

- ア 内容及び内容の取扱いに明記されている教科（小学校音楽科）
- イ 教材の工夫等により国際理解教育を深める授業を行う教科（小学校算数科）の展開例を次頁に記載する。

ア 内容及び内容の取扱いに明記されている教科

音楽科の展開例

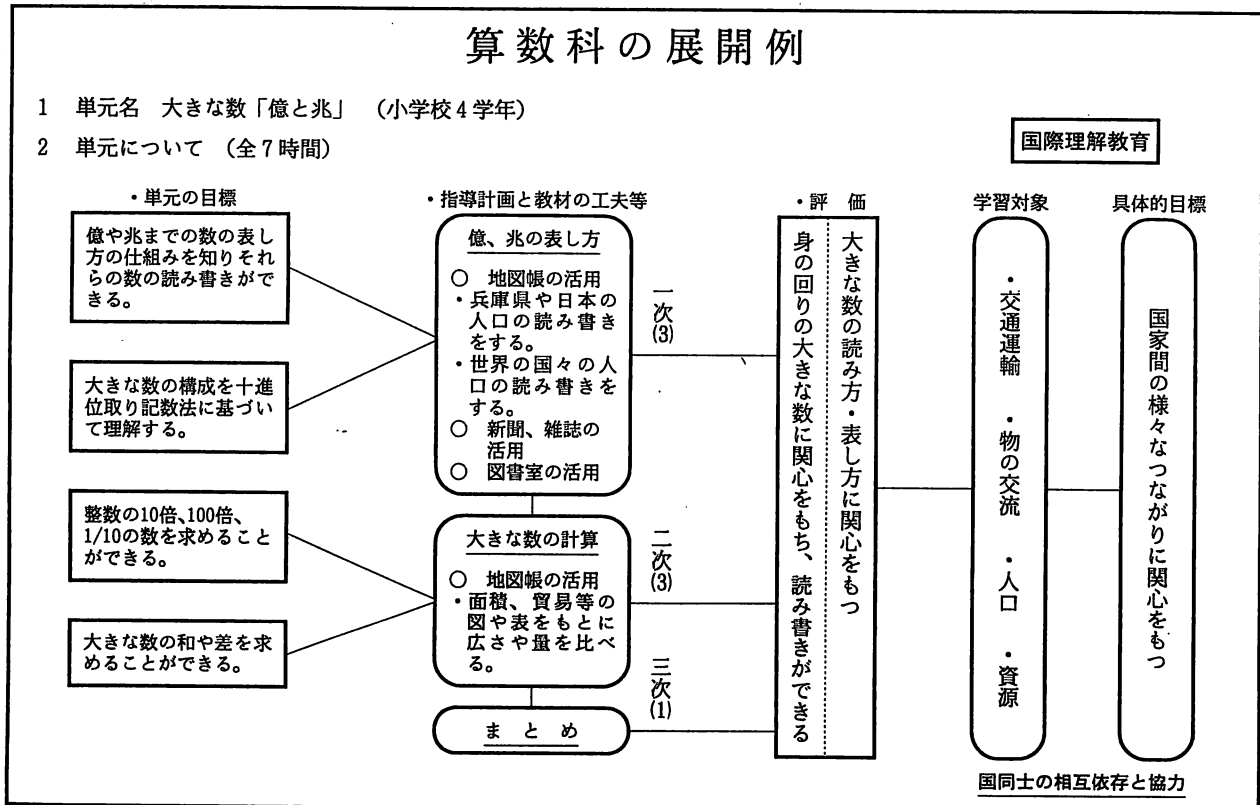
- 1 題材 「日本の音楽に親しもう」 (小学校5学年)
- 2 ねらい 我が国の文化と伝統について理解を深め、尊重する心を養う。
- 3 指導計画 (全3時間)
 - 第1時 日本の音楽の特徴
 - 第2時 日本の民謡
 - 第3時 日本の音楽と西洋の音楽 (本時分)
- 4 本時の目標 日本の音楽と西洋の音楽の、よさやすばらしさを見つけたり考えたりする。
- 5 使用教材 「管弦楽のための木挽歌」(中心教材), 民謡「日向の木挽歌」
- 6 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 本時の学習課題を知る。 2 日向の木挽歌のメロディーを聴く。 3 「管弦楽のための木挽歌」を聴く。 ・オーケストラの響きを味わう。 ・四つの部分の拍子、速さ、楽器に気を付けて聴く。 ・メロディーの変化を感じとる。 ・楽器の音色に耳を傾ける。 ・感じたことを発表し合う。 4 日本の音楽について気づいたことを発表し合う。 5 「管弦楽のための木挽歌」を味わって聴く。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に視聴したビデオ内容や各地の木挽歌を思い出させながら、本時の学習課題を明確にさせる。 ・九州地方の民謡をもとにして、管弦楽曲に作られたものであることを知らせる。 ・「木挽歌」がどのように変化しながら演奏されているかを聴くように伝える。 ・作曲者の作曲についての考え方を知る。 「山奥で働く一人の木挽の歌った歌が、やがて村里で盆踊りになり、さらに都会にまで広まって、多くの人々に愛されていくという、民謡のもつ生命力のたくましさ管弦楽によって表現しようとした。」 ・西洋の楽器と日本の楽器の組み合わせや音色を聴きとらせる。 ・一つのメロディーをいろいろな楽器が受けつぎながら演奏していくおもしろさを感じさせる。 ・日本の音楽を身近なものとしてとらえさせる。

イ 教材の工夫等により国際理解教育を深める授業を行う教科

算数科の展開例

- 1 単元名 大きな数「億と兆」 (小学校4学年)
- 2 単元について (全7時間)



⑤ 教科における国際理解教育推進上の留意点

ア 学校の実態に即した指導計画の作成

地域や学校の実態等に応じ、創意工夫を生かした具体的な指導計画を作成する。

イ 学校教育目標を基盤にした教材の精選

学校教育目標を基盤にして、指導内容のまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を加えるとともに、教材等の精選を図り、効果的な指導をする。

ウ 単元内容の発展的な取り扱い

教科書の内容に国際理解に関する記載がない単元についても、全教科において教材の工夫等により国際理解を深め、各教科の目標が達成できるようにする。

エ 児童生徒の実態に即したねらいの設定

各単元のねらいについては、児童生徒の実態に即し、適切なものにする。

オ 学習方法や形態の工夫

指導に当たっては、体験的な活動や児童生徒の興味・関心を生かし、多様な学習方法や学習形態を取り入れ、自主的・自発的な学習が促されるよう工夫する。

カ 道徳・特別活動との関連

教科指導を充実させながら、道徳・特別活動との関連を図り、国際理解教育の効果的な指導をする。

キ 指導体制の確立

国際理解教育の推進委員会などを、校務分掌に位置づけ、全教職員が共通理解を図りながら、協力し合って実践できるようにする。

3 研究成果と今後の課題

現在、世界には、人口問題、食糧問題、環境問題等、世界の国々が協力・協調し合って解決していかなければならない、人類共通の課題が山積している。

東西の冷戦構造が崩れ、新しい国際社会の在り方が模索されている今日、世界の諸課題を解決していくためには、自国の利害のみにこだわらず、国際的、地球的、全人類的視野に立った共生の在り方が求められている。

その意味で、これからの学校教育においては、教師自らが「Think globally, act locally.」の視点に立って、日常の教育活動全般に取り組むとともに、児童生徒には、豊かな「Global mind」を培わなければならない。

本研究では、教科指導における国際理解教育がより積極的に推進されるよう、小・中学校の一貫性を踏まえた、各教科毎でのスコープに基づく指導計画を作成した。これにより、兵庫県学校教育審議会で問題とされた国際理解教育推進上の課題について、解決への一つの方途が示されたのではないかと考える。

今回作成した指導計画は試案であり、十分なものではない。残された課題は多いが、これからも研究を深

めていきたい。

おわりに

国際理解教育は、本研究で明らかにしたように、教科指導において、教師一人一人が国際理解の重要性を意識することによって可能となる。そのためには、日常の生活や授業の中で、教師自らが国際理解教育の視点を意識することが大切であろうと考える。

平成7年度から月2回の学校週5日制が実施されるが、教材の精選等を図りながら、意図的・計画的・継続的な指導を行い、より一層の国際理解教育の充実を図ることが望まれる。

今後、各学校での実践研究を深めていただくとともに、学校間での情報交換等をとおして、国際理解教育が更に進展するよう期待したい。

最後に、この研究に対し、ご協力いただいた方々に深く感謝し、お礼申し上げます。

引用文献

1) 奥田真丈・河野重男監修、安彦忠彦他編『現代学校教育大事典 第4巻』ぎょうせい(1993)

参考文献

- ・帝塚山学院大学国際理解研究所編『国際理解7・8・13・21・25号』(1975、1976、1981、1989、1994)
- ・兵庫県学校教育審議会答申『国際理解を深めるための学校教育の在り方について』(1990)
- ・兵庫県教育委員会『国際理解教育指導資料』(1992)
- ・文部省『小学校 教育課程一般 指導資料 新しい学力観に立つ教育課程の創造と展開』東洋館出版(1993)
- ・大津和子著『国際理解教育 一地球市民を育てる授業と構想一』国土社(1993)
- ・山本政男編『教職研修総合特集 (No.118) 異文化理解教育読本』教育開発研究所(1994)
- ・三浦健治編『小学校 国際理解教育の進め方 一新しい学力観をふまえて一』教育出版(1994)
- ・井上裕吉他編『中学校 国際理解教育の進め方 一新しい学力観をふまえて一』教育出版(1994)

共同研究者

中澤 光昭	延藤十九雄	藤永 峯子
小林多津子	池本 忠行	笹倉 剛
松尾 光明	井上 正弘	古田 昇

別表1 スコープ並びに小・中学校における具体的な目標

	ねらい	学習対象	小学校低学年	小学校高学年	中学校
1	人権尊重 ○全ての人間は、生まれながらにして自由・平等に生きる権利を有していることを理解すること ○全ての人権を尊重するという態度や実践力を育成すること	・生命の尊厳 ・基本的人権 ・子どもの権利に関する条約 ・福祉・ボランティア活動 ・民族・人種問題など	・身のまわりの人々と進んで係わり、誰とでも楽しく過ごす。 ・身のまわりの人々の思いや願いを、相手の立場に立って考える。 ・身のまわりの人々はそれぞれの思いや願いをもって生活していることを理解し、お互いに協力し合うことが大切であることに気づく。	・文化や生活環境の異なる人々の願いや価値観を理解し、互いに人権を尊重しようとする。 ・他の地域や国々の人々がお互いの思いや願いを、相手の立場に立って考え、公平に判断する。 ・全ての人々は、生まれながらにして、自由と平等の権利を有していることを理解する。	・お互いの人権を尊重し合い国際的な視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする。 ・お互いの人権を尊重し合い物事を客観的・論理的に判断する。 ・人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を理解し、人権の大切さが分かる。
2	文化・伝統の理解と尊重 ○我が国や他の国々の文化・伝統を理解するとともに、相互に尊重し合うこと ○我が国や他の国々の文化・伝統を認め合い、創造的な発展を図っていくこと	・学問、芸術道徳や法律 ・生活様式(衣・食・住) ・風俗、習慣 ・伝統的な行事など	・進んで地域の文化に接したり行事に参加したりしながら、親しみや興味・関心をもつ。 ・地域の文化・伝統のよさやすばらしさについて考える。 ・それぞれの地域には、様々な生活の仕方や伝統的な行事があることに気づく。	・世界の国々や民族の文化・伝統に関心をもち、それぞれのよさやすばらしさを尊重しようとする。 ・我が国の文化や異文化のよさやすばらしさを見つめたり考えたりする。 ・異文化の特徴やよさに気づき、互いに認め合う大切さが分かる。	・異文化間の共通点や相違点に関心をもち、それらを認め合いながら、創造的に発展させようとする。 ・文化を生みだした背景に目を向け、様々な文化の共通点や相違点を理解し、望ましい在り方について考える。
3	国際協力・協調 ○地球的規模の共通課題を解決するために、地域や国同士が相互に依存・協力し合わなければならないことを理解すること ○よりよい国際社会を築くために個人や日本の役割を自覚し、実践していこうとする態度を養うこと	・交通、運輸 ・人、物や情報の交流 ・環境問題 ・国際機関 ・国際紛争 ・人口問題及び食料危機 ・資源、エネルギー問題など	・自分たちの生活が自然や地域、外国と係わりをもっていることに興味・関心をもち、進んで調べようとする。 ・身のまわりにある外国の品物などをもとに、外国との係わりについて考える。	・国家間の様々なつながりと環境や資源の重要性などについて関心をもつ。 ・国際社会の仕組みについて考え、国同士の係わりやつながりについて公正に判断したり、よりよい関係の在り方を考えたりする。 ・世界の国々は、様々な産業や文化を通して深く結びついていることを理解し、それぞれの国が互いに協力・協調しなければならないことに気づく。	・社会や国際問題に関心をもち国際協力・協調に向けての意欲を高めようとする。 ・世界の国々に共通する様々な課題の解決に向けて、国際機関や各国、個人が果たすべき役割について考え、それらを客観的に判断する。 ・世界的視野に立って、課題の解決に積極的に係わっていく態度を身につける。
4	コミュニケーション能力 ○自分の思いや考えを豊かに自己表現することができること ○外国の人々の思いや考えを理解してその違いを認識し、相互理解を深めようとする態度を養うこと	・言語による表現・理解(日本語・外国語) ・その他の表現・理解(身体・造形・音楽等)など	・自分の思いや願いを伝える大切さに気づき、わかりやすく表現したり、相手の表現を見たり聞いたりして、その思いや考えが分かる。	・自分のできる効果的な方法を用いて、思いや考えを人々に分かりやすく表現したり、コミュニケーションを図ったりする。	・目的や相手に応じて、効果的な表現方法を選択するとともに、外国語を使って自分の考えを表現したり、進んでコミュニケーションを図ったりする。

別表2 小・中学校国語科における国際理解教育のための指導計画(案)

＜教材の選定基準について＞

国語科では、学習指導要領の「指導計画の作成と内容の取扱い」の中に、学習指導における配慮事項として、小学校では10項目の「教材における話題や題材選定の観点」、中学校では8項目の「教材選定の観点」が示されており、その中に、国際理解教育に関する内容が記述されている。教材の選定は、県内での使用状況を考慮し、小学校では「光村図書(平成4年度用)」、中学校では「三省堂(平成5年度用)」の各教科書を参照しながら、学習指導要領、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として行った。

スコープ	学年		学習対象	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	中学1学年	中学3学年
	ねらい	学習対象									
文化・伝統の理解と尊重	<ul style="list-style-type: none"> ○我が国や他の国々の文化・伝統を理解するとともに、相互に尊重し合うこと ○我が国や他の国々の文化・伝統を認め合い、創造的な発展を図っていくこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・学問、芸術道徳や法律 ・生活様式(衣・食・住) ・風俗、習慣 ・伝統的な行事など 	<p>「たぬきの糸車」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童話の持つぬくもりや人々の生活ぶりを味わう。 	<p>「力太郎」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話のおもしろさや登場する人々の生活ぶりを味わう。 <p>「スーホの白い馬」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を通じて、外国(モンゴル)の文化や生活に触れる。 	<p>「三年とうげ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を通じて、外国(韓国)の生活ぶりや言い伝えに触れる。 	<p>「吉四六話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民話に登場する人々の生活ぶりやねがいを読み取る。 <p>「方言と共通語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉と生活との関係について理解する。 	<p>「漢語と和語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢語と和語の語感や使い方の違い、日本語における中国文化の影響について考える。 <p>「輪島ぬり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸の素晴らしさを理解する。 	<p>「短歌と俳句」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的詩歌の特徴を理解し味わう。 <p>「長屋王木簡の発見」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木簡に見る貴族の生活や文化に触れる。 <p>「仮名の由来」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の起こりや日本語と中国文化とのつながりを理解する。 <p>「外来語と日本文化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化交流の現れである外来語について由来や特徴を理解する。 	<p>「ふき漆の器」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「切ることと創ること」 「水仙月の四日」 ・風土や生活と文化とのかわりを見つめ、人間の知恵と感性の豊かさを感じ取る。 <p>「星取り」「馬盗人」「故事成語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の人々のものの見方、考え方や行動を読み取る。 	<p>「短歌とその世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌の世界の捉え方、味わい方について理解する。 <p>「四万十川 —『コロバシ』漁」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風土や自然と深く結びついている人間の生活ぶりを理解する。 <p>「木に学べ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮大工の体験談から、我が国の木の文化を理解する。 <p>「じょうご造り・くど造り」「文化」というもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化のさまざまな姿に目を開き、豊かな創造性に富んだ人間の営みについて考える。 <p>「壇の浦の合戦」「上人の感涙」「虎の威をかる狐」「奇政は暴虎よりも猛し」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な時代や社会に生きた人々の人間像、心情・思想を捉え、当時の生活や習慣について理解する。 <p>「狂言柿山伏」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狂言のこっけいさを味わい、当時の世情や人情を想像する。 	<p>「俳句とその世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句の世界の捉え方、味わい方について理解する。 <p>「故郷」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれた当時の中国の文化や生活ぶりに触れる。 <p>「『ありがとう』と言わない重さ」「手あかのついた言いまわし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことばと文化とのかわりについて理解を深める。 <p>「和歌の叙情」「春はあけぼの」「旅の心」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に見る自然や人生に対する思い、美に対する感覚などに触れ、ものの見方や感じ方を深める。 <p>「わたしたちと世界」「文化交流を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の捉え方を見直し、国際交流についての考えを深める。
国際協力・協調	<ul style="list-style-type: none"> ○地球的規模の共通課題を解決するために、地域や国同士が相互に依存・協力し合わなければならないことを理解すること ○よりよい国際社会を築くために、個人や日本の役割を自覚し、実践していくこう態度を養うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通、運輸 ・人、物や情報の交流 ・環境問題 ・国際機関 ・国際紛争 ・人口問題及び食料危機 ・資源、エネルギー問題など 	<p>「かたかなで書くことば」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かたかなで書く言葉を集め、外国や外国から来た言葉に関心をもつ。 	<p>「ちいちゃんのかけおくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争のもたらす悲しき平和の尊さを味わう。 	<p>「一本の鉛筆の向こうに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々とのつながりを理解する。 <p>「一つの花」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争のもたらす悲しみを理解し、平和への意欲をもつ。 <p>「カブトガニを守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全への関心や意欲をもつ。 <p>「雪国は今」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活上の工夫や自然との共存への努力を理解する。 	<p>「地図が見せる世界」「大陸は動く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界についての見方や考え方を広げ深める。 <p>「おみやげ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「宇宙人の宿題」 ・人類的課題である世界平和について考える。 <p>「宇宙の仲間を求めて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来に目を向け、地球人としての在り方を考える。 	<p>「太陽のめぐみ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「オゾンがこわれる」 ・太陽エネルギーやオゾン層の動きを理解し、地球環境保全への関心をもつ。 <p>「石うすの歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争のもたらす悲しみを理解し、平和への意欲を高める。 <p>「守る、みんなの尾瀬を」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の生き方を通し、自然環境保全への意欲をもつ。 	<p>「高齢化社会と きみたち」「この小さな地球の上で」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な問題や事実について視野を広げる。 <p>「アイスクャンデー売り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争のもたらす悲劇を理解し、平和希求への意欲をもつ。 <p>「花があれば自然」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然のしくみの不思議さや人間と自然とのかわりを見つめる。 	<p>「一枚の地図」「国際化の構図」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際化についての理解を深め、世界的視野に立って未来を考える。 <p>「兄からのはがき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争のもたらす悲しさを理解し、平和希求への意欲をもつ。 <p>「緑の長城はできるか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明の進歩と人間生活との関係、人類的課題である自然保護の在り方について考える。 	<p>「凧になったお母さん」「仮帯帯所にて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の悲惨さを感じ取り、平和希求への意欲を高める。 <p>「地球環境の危機」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然破壊、地球温暖化等、地球規模の問題について考える。 	

別表3 小・中学校社会科における国際理解教育のための指導計画(案)

＜教材の選定基準について＞

社会科では、学習指導要領の全体目標に国際理解教育に関する内容が記述されている。従って、教科のねらいを達成することが国際理解教育につながる。教材の選定は、県内での使用状況を考慮し、小学校は「大阪書籍(平成4年度用)」、中学校は「大阪書籍(平成5年度用)」の各教科書を参照しながら、学習指導要領、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として行った。なお、単元名については大単元を『』で記載した。

	3学年	4学年	5学年	6学年	中学1学年	中学2学年	中学3学年
文化・伝統	<p>『わたしたちの市のようす』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の生活は自然環境と深い関係にあることに気づく。 ・場所によって人々の生活に違いがあることを理解する。 <p>『市の人びとのくらしとうつりかわり』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・およそ100年間の地域における生活の移り変わりについて理解する。 ・地域の文化財や年中行事に関心をもち、人々の願いについて考える。 	<p>『きょう土をひろく』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の地域の人々の生活の様子を理解する。 ・開発のための技術や道具などについて、外国とのかかわりに気づく。 	<p>『古くからつくづく手づくりの工業』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統的な技術や特色を生かした工業があることに気づく。 	<p>『日本の国の統一』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大陸から稲作農耕文化が伝播し、人々の生活や社会の様子が変化したことを理解する。 ・遣隋使や遣唐使派遣などによって、積極的に大陸文化を吸収したことに気づく。 ・寝殿造などを通して、大陸文化の基礎の上に日本風文化が開花したことを理解する。 <p>『武士の世の中』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室町文化を通して、日本文化の原型が形づくられたことに気づく。 ・鉄砲やキリスト教の伝来などを通して日本文化への影響に気づく。 <p>『新しい日本へのあゆみ(1)』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米の文化を取り入れた文明開化により、人々の生活に大きな変化が見られたことを理解する。 	<p>『東南アジアの国々』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の生活や文化への関心をもつ。 <p>『アメリカ合衆国』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカにおける多民族多文化の現状を理解する。 <p>『日本人々の生活』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土に適した生活の姿を理解する。 ・外国人と日本人の生活習慣や行動を比較して、その特徴を理解する。 	<p>『原始から古代へ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～6世紀の日本文化の形成に果たした中国・朝鮮の文化の影響を考える。 <p>『古代統一国家の形成』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の純日本的文化の形成過程に関心をもつ。 <p>『中世の日本とアジア』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室町文化を通して庶民文化が芽生え、現在の日本文化の原型ができたことを理解する。 <p>『ヨーロッパの動きと天下統一』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄砲やキリスト教の伝来による西欧文化の日本への影響を知る。 <p>『日本の近代化とアジアの動き』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の進展にともない、生活や文化が西洋の影響を受けて変化したことを理解する。 	
協力・協調	<p>『わたしたちのくらしと商店のはたらき』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店で販売される品物を通して、外国とのかかわりに気づく。 <p>『わたしたちの市でつくり出されるもの』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産活動に必要な原材料は、広く外国からも輸入していることに気づく。 ・地域の生産活動は、生製品の販売や輸送方法の確保を通して外国と結びついていることに気づく。 	<p>『健康なくらしをささる』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活を支えるものには水資源や廃棄物処理など、自然環境とかがわりの深いことに気づく。 <p>『わたしたちの県』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の主な産業や交通網などを通して、外国とのかかわりに気づく。 <p>『国土のようすとさまざまな土地のくらし』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の領土を中心として、諸外国とのかかわりを理解する ・人々が自然環境に適応しながら生活している様子に関心をもつ。 	<p>『わたしたちの食生活と農業』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の食生活の変化や食料確保のために、外国から農産物を輸入していることを理解する。 <p>『わたしたちの食生活と水産業』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の水産資源確保における沖合(遠洋)漁業の問題に気づく。 ・水産業発展には、水産資源の保護と育成が大切であることを理解する。 <p>『工業の発達とわたしたちのくらし』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の工業は、原料を輸入し、製品を輸出していることを理解する。 ・生活環境を快適にするには公害防止が大切であることを理解し、人々も協力しなければならないことに気づく。 <p>『くらしや産業をささえる運輸と貿易』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本を結ぶ運輸業の働きを理解する。 ・主な貿易相手国と輸出入の品目などを理解するとともに貿易問題を考える。 <p>『国土のようすと人間のくらし』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の働きを理解し、その育成や保護が大切であることを気づく。 	<p>『世界の中の日本』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国とつながりの深い国の人々の生活の様子を理解する。 ・他国との協調を図るためには正しい国際理解が必要であることを理解する。 ・国際連合の働きについて理解し、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを理解する。 	<p>『東南アジアの国々』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアと日本の間で経済や貿易の緊密化が進んでいることを理解する。 <p>『ECの国々』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい国際協力の在り方について考える。 <p>『日本と世界の結びつき』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発協力の望ましい在り方を考える。 	<p>『新しい日本と世界』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の環境保全や経済協力における在り方について、日本の役割や立場を考える。 	<p>『戦後の国際社会』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の輸入自由化を通して日米間の経済問題を考える。 <p>『現代の国際社会と日本』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国への援助協力の在り方を考える。 ・地球環境保全における日本の役割を考える。

別表4 小学校算数科・中学校数学科における国際理解教育のための指導計画(案)

<教材の選定基準について>

算数・数学科では、学習指導要領に国際理解教育に関する記述はないが、教科のねらいを達成するために、世界の数学史等に関連する教材を発展的に取り扱うことができる。教材の選定は、県内での使用状況を考慮し、小学校は「啓林館(平成4年度用)」、中学校は「啓林館(平成5年度用)」の各教科書を参照しながら、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として行った。

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	中学1学年	中学2学年	中学3学年
文化・伝統			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「そろばん」 ・そろばんを使って数 を表したり、計算をし たりすることを通して、 古くから我が国で用い られてきた、計算のた めの道具に関心をもつ。</p> </div>		<p>「6年のまとめ」 1 数と計算(数のたん生) ・世界における数字のたん生の 歴史を知ることを通して、自分 たちが使っている数字に関心をも つ。</p> <p>2 量とはかり方(量の単位の 始まり) ・世界における長さの単位の始 まりについて知ることを通して、 自分たちが使っている単位に関 心をもつ。</p> <p>3 図形(図形の始まり) ・世界における図形の研究の始 まりを知ることを通して、自分 たちが学習している図形につい て関心をもつ。</p> <p>4 数量の関係(記号の使われ 方) ・世界における記号の歴史を知 ることを通して、自分たちが使っ ている記号に関心をもつ。</p>	<p>「正の数・負の数」 ・零や負の数の発見について関心をも つ(零がインドで発見されたことや、 負の数が中国の「九章算術」で、算木 という計算器具を用いて表されたこと)。</p> <p>「方程式」 ・等号(=)の起源について関心をもつ (1557年、ロバート・レコードが最初 に用いたこと)。 ・方程式の表し方に関心をもつ(ディ オファントスの生涯についての言い伝 え)。</p> <p>「変化と対応」 ・直交座標(デカルトが考案したも の)の表し方を理解し、それ以外の座 標の表し方にも関心をもつ。</p> <p>「平面図形」 ・直線、点についての学習を通し、 ユークリッド(「ユークリッド原論」) の業績に関心をもつ。</p> <p>「空間図形」 ・オイラーの多面体定理について関 心をもつ。</p>	<p>「連立方程式」 ・「つるかめ算」が、連 立方程式と関連する考え 方であることを理解する (3、4世紀頃の中国の 数学書「孫子算経」)。</p> <p>「不等式」 ・不等号の起源について 関心をもつ(1631年、イ ギリスのトーマス・ハリ オットが初めて用いた)。</p> <p>「図形の調べ方」 ・平行線についての学習 を通して、ユークリッド の業績に関心をもつ。</p> <p>「図形と合同・相似」 ・タレス(紀元前600年 頃、古代ギリシアの数学 者)の考えから、合同 や相似図形について関心 をもつ。</p>	<p>「平方根」 ・平方根に関するインドのバースカ ラやドイツのクリスト・ルドルフの 業績に関心をもつ。</p> <p>・世界の数学史における無理数πの発 見と近い値に関心をもつ。</p> <p>「関数」 ・ピサの斜塔でのガリレオの実験 について知り、関数について関心を深 める。</p> <p>「二次方程式」 ・二次方程式の起源について関心をも つ(バビロニアの数学)。 ・黄金比について理解し、芸術などに 生かされていることを知る。</p> <p>「三平方の定理」 ・ピタゴラスや「ピタゴラスの定理」 について調べる。また、歴史的にも 三平方の定理の証明方法がいろいろ あることに関心をもつ。</p> <p>「球の体積・表面積」 ・アルキメデス(紀元前250年頃) の業績に関心を持ち、考え方を知る。</p>	
算数(数学)の学習を進める上での法則・記号は、世界共通のものであり、また世界の文化遺産であることに気づく。									
協力・強調				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「大きな数・億と兆」(第4学年) ※ P13 展開例参照 ・一億をこえる世界の国々の人口 を読んだり書いたりすることを通 して、世界の国々に関心をもつ。</p> </div>					

別表5 小・中学校理科における国際理解教育のための指導計画(案)

＜教材の選定基準について＞

理科では、学習指導要領に国際理解教育に関する記述はないが、教科のねらいを達成する手だての一つとして、国際理解につなげるための教材の工夫等ができる。教材の選定は、県内での使用状況を考慮し、小学校は「啓林館(平成4年度用)」、中学校は「啓林館(平成5年度用)」の各教科書を参照しながら、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として行った。なお、中学校は学習指導要領の「内容の取扱い」(1)に示されたものを基準とし、各学年枠に記述した。

	3学年	4学年	5学年	6学年	中学1学年	中学2学年	中学3学年
文化・伝統		<p>「物の重さとてんびん」</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国や他の国々の物の重さの測り方や移り変わりに関心をもつ。 <p>「物のかさと温度」</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国や他の国々の熱による物の膨張を利用した道具や器具(温度計など)などに関心をもつ。 	<p>「てこのはたらき」</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代から生活に生かしているてこの利用に関心をもつ。 <p>「太陽と月」</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の国々における太陽高度の違いに興味・関心をもつ。 <p>「天気の変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の国々の天気の様子とくらしとのかかわりに関心をもつ。 天気の予想に関する昔からの言い伝えに関心をもつ。 	<p>「星の動き」</p> <ul style="list-style-type: none"> 星や星座の名称や神話のいわれに関心をもつ。 	<p>「光・音・熱・力」</p> <ul style="list-style-type: none"> 比熱の違いによる内陸部と海岸沿いの温度差に気づき、民族衣装のルーツを理解する。 	<p>「天気とその変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の天気に関心をもち、気候と生活とのかかわりに気づく。 	
	自然に親しみ、観察、実験などを行う中で、万国共通の法則性を発見したり理解したりする。				自然界の神秘、調和、法則性についての関心や理解を深める。		
協力・協調	<p>「空気や水と力」「金属と電気」「物に光を当てたとき」</p> <ul style="list-style-type: none"> 空気、水や光が資源として活用できることに気づく。 	<p>「物のあたたまり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 国々の部屋の暖房の工夫や特徴に関心をもつ。 <p>「電気のはたらき」</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気エネルギーの活用や太陽電池の利用に関心をもつ。 <p>「流れる水のはたらき」</p> <p>「氷・水・水蒸気」「水の旅」</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源としての水の循環や地球上の水の有限性を理解する。 	<p>「太陽と月」</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源としての太陽に関心をもつ。 <p>「魚のたんじょうと育ち」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然保護の大切さに気づく 	<p>「ヒトとかんきょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> くらしにおける水や空気の大かさを理解する。 環境保全のあり方を考える。 <p>「大地のでき方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界における火山の噴火の歴史と人々との係わりに関心をもつ。 <p>「水よう液の性質」</p> <ul style="list-style-type: none"> 海や川の汚れに関心をもち、環境保全の大かさに気づく。 <p>「電流のはたらき」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活と係わりの深い電気エネルギーの世界的な活用に関心をもつ。 	<p>「地球と太陽系」</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇宙開発に対する人類の取り組みに関心をもつ。 	<p>「電流のはたらき」</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気エネルギーを利用した道具や器具に関心をもつ。 資源としての電気の大かさに気づく。 	<p>「大地の変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球的な規模でのプレートの動きと地表の変化に関心をもつ。 <p>「生物どうしのつながり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 食物連鎖に関心をもち、その破壊や種の絶滅に人類が大きくかかわっていることに気づく。 <p>「かけがいのない地球」「資源の利用」「自然環境の保全」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の破壊の様子を調べ、生物の存続を考える。 資源の有限性、節約や有効な利用の仕方の大かさに気づく。 <p>「酸とアルカリ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸性雨やその被害状況に関心をもち、課題解決に向けて考える。 <p>「科学技術と私たちの生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい素材の開発とエネルギーの利用の大かさを理解する。

別表6 小学校生活科における国際理解教育のための指導計画(案)

<教材の選定基準について>

小学校生活科では、学習指導要領に国際理解教育に関する記述はないが、教科のねらいを達成する手だての一つとして、国際理解につなげるための教材の工夫等ができる。教材の選定は、県内の使用状況を考慮し、「啓林館(平成4年度用)」の教科書を参照しながら、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として行った。

	1学年	2学年
文化・伝統	「おもちゃであそぼう」「げんきにあそぼう」 ・伝承遊びのよさやおもしろさに気づく。 ・他の国々のおもちゃや遊び方を知る。 「おもちゃをつくってあそぼう」 ・我が国や他の国々の伝統的な遊び道具や遊び方を知る。	「夏休みのせいかつ」「みのりの秋」 ・伝統的な行事のいわれや様子に気づき、それらに進んで参加する。 「子どものゆうびんきょくをひらこう」 ・年賀状や手紙を出したりもらったりする楽しさを味わう。
協力・協調		「子どものゆうびんきょくをひらこう」 ・外国と手紙や電話で交流できることを知り、そのすばらしさに気づく。 「のりものにろう」 ・交通機関の利用の仕方を身につける。 ・地域や国々が交通機関でつながっていることに気づく。

別表7 小学校体育科、中学校保健体育科における国際理解教育のための指導計画(案)

<教材の選定基準について>

小学校体育科、中学校保健体育科では、学習指導要領の「内容及び内容の取扱い」に国際理解教育に関する内容が記述されている。教材の選定は、県内での使用状況を考慮し、小学校は「東京書籍(平成4年度用)」、中学校は「学研(平成5年度用)」を参照しながら、学習指導要領、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として行った。

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	中学1学年	中学2学年	中学3学年
文化・伝統	日本・外国の運動、ゲーム、ダンス等を通し各国の文化に触れる。					スポーツ、ダンス等が、各国の自然、風土、歴史、文化、民俗性等を背景に誕生し、発展したことを理解するとともに、日本の武道等への理解を深める。			
協力・協調					「病原体がもとになっておこる病気の予防」 ・予防の具体例の学習を通して世界保健機関やユニセフ等の活動を理解する。 「水・空気・日光と健康」 ・地球規模で環境問題に目を向ける。	「精神の発達のかた」 ・集団の一員として必要な社会性(協調性や責任感等)について考える。	「環境の汚染と保全」 ・地球規模の環境問題の認識と国レベル、個人レベルでの課題解決について考える。	「成人病と特徴」「現代生活と健康」 ・伝統的な食事や日常生活習慣と健康とのかかわりについて理解し、自分たちの日常生活について見直す。	「病気の発生要因」 ・先進国と途上国の死亡原因の認識とそれぞれの社会が抱える問題を理解する。 「伝染病の発生要因とその予防」 ・世界保健機関やユニセフ等の努力の成果を理解する。 「病原体からからだを守るはたらき」 ・エイズの感染経路などについて理解し、それらを踏まえて、予防方法についても理解する。

別表8 小学校家庭科、中学校技術・家庭科における国際理解教育のための指導計画(案)

<教材の選定基準について>

小学校家庭科、中学校技術・家庭科では、学習指導要領に国際理解教育に関する記述はないが、教科のねらいを達成する手だての一つとして、国際理解につなげるための教材の工夫等ができる。教材の選定は、県内の使用状況を考慮し、家庭科は「開隆堂(平成4年度用)」、技術・家庭科は「開隆堂(平成5年度用)」の各教科書を参照しながら、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として行った。

	5学年	6学年	中学1学年	中学2学年	中学3学年
文化・伝統	「わたしたちの衣服」 ・気候に適した衣服の着方を理解する。	「いろいろな調理」 ・調理には、地域や外国に昔から伝わる独特な方法があることを知る。 「気候の変化と住まい方」 ・気候の変化に適した住まい方の工夫を理解する。			「被服とわたしたちの生活」 ・国々の気候や風土に適した衣生活があることを理解する。
協力・協調	「ごみのしゅ理と不用品の活用」 ・環境保護や資源の再利用の大切さに気づく。	「じょうずな買い物」 ・品物には、エコマークなどのついた地球にやさしい商品があることに気づく。	「木材の利用と役割」 ・木材資源の現状を理解し、むだのない利用の仕方を考える。 「わたしたちの家庭と地域社会」 ・自分たちの生活が深く環境とかがわっていることに気づき、環境保全の在り方やその方法について考える。	「これからの食生活」 ・食品の多くが外国から輸入されていることを理解する。 ・食料資源確保のためには、地球規模での環境問題について考えることが大切であることに気づく。	「金属の利用と役割」 ・金属資源と環境のかかわりについて考える。 「機械と生活」 ・機械による環境破壊の現状を知り、環境保全とエネルギーの有効利用の大切さを理解する。 「これからの住生活」 ・廃棄物処理の在り方が地球環境と深くかかわっていることに気づき、環境保全の大切さを理解する。

別表9 小・中学校音楽科における国際理解教育のための指導計画(案)

＜教材の選定基準について＞

音楽科では、学習指導要領の「内容及び内容の取扱い」に、国際理解教育に関する内容が記述されている。教材の選定は、学習指導要領、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として、各教科書に掲載されている共通教材(わらべうた・日本古謡・鑑賞曲のみ)を取り上げた。なお、教科の特性もあり、スコープ3の「国際協力・協調」に該当する教材は、教科書では取り扱われていない。

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	中学1学年	中学2学年	中学3学年
文化・伝統	日本や外国で親しまれてきた音楽の良さや楽しさに気づく。						我が国及び諸外国の音楽について、およその時代的、地域的特徴を感じ取る。 音楽とその他の芸術とのかかわりを総合的にとらえる。		
	「ひらいたひらいた」(わらべうた) 「アメリカン・パトロール」 「おどる子ねこ」 「おもちゃの兵隊」	「かじやのボルカ」 「出発」(組曲「冬のかがり火」から) 「トルコ行進曲」	「うさぎ」(日本古謡) 歌劇「軽騎兵」序曲 「ポロネーズ」(管弦楽組曲 第2番 ロ短調から) 「メヌエット」ト長調	「さくらさくら」(日本古謡) 「ノルウェー舞曲」第2番 イ長調 「白鳥」 ホルン協奏曲 第1番ニ長調 第1楽章	「子もり歌」(日本古謡) 「管弦楽のための木挽歌」※ P13 展開例参照 歌曲「荒城の月」、「箱根八里」、「花」 ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章	「越天楽今様」(歌詞は第2節まで) (日本古謡) 歌曲「赤とんぼ」、「この道」、「待ちぼうけ」 組曲「道化師」 「春の海」	雅楽「越天楽」 「春」(「和声と創意の試み」第1集「四季」から) 「魔王」 「モルダウ(ブルタノ)」(連作交響詩「我が祖国」から)	「アイーダ」から第2幕第2場 箏曲「六段の調」 尺八曲「鹿の遠音」 交響曲 第5番 ハ短調 作品67 小フーガ ト短調 「ノベンバー ステップス」 第1番	「アンフェス協奏曲」 長唄「勧進帳」(「旅の衣は…海津の浦に着きにけり」の部分) 「水の戯れ」

別表10 小学校図画工作科・中学校美術科における国際理解教育のための指導計画(案)

＜教材の選定基準について＞

小学校図画工作科では、学習指導要領に国際理解教育に関する記述はないが、教科のねらいを達成する手だての一つとして、国際理解につなげるための教材の工夫等ができる。中学校美術科では、学習指導要領の「内容及び内容の取扱い」に記述されている。教材の選定は、県内での使用状況を考慮し、小学校は「日本文教出版(平成4年度用)」、中学校は「日本文教出版(平成5年度用)」の各教科書を参照しながら、小学校では「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1、中学校では、学習指導要領、「国際理解教育指導資料」(兵庫県教育委員会 平成4年)及び別表1を基準として行った。

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	中学1学年	中学2・3学年
文化・伝統	「ながいかざり」 ・作品づくりを通して、地域の行事に参加する。	「かざぐるま」 ・伝統的なおもちゃや遊び方があることに気づく。	「とぼしてあそぼう」 ・竹とんぼづくりを通して、伝統的な遊びを楽しむ。	「ゆかいな顔」 「お面とたこ」 ・我が国や外国のお面とたこについて、その特徴や意味を知る。	「切手にみる美術」 ・切手を通して、世界の自然や文化に触れる。 「文化財を大切にしよう」 ・我が国や外国の美術品のよさに気づき、大切にしようとする意識をもつ。	「環境と美術」 ・ステンドグラスや寺院建築に込められた、当時の人々の願いや思いに関心をもつ。	「美術の始まり」 ・歴史的な美術作品をもとに、作者の気持ちや暮らしを想像する。 「動と静、日本の美の伝統」 ・文化遺産としての日本の美術作品を味わい、その特質や伝統について理解を深める。	「東西の美術」「浮世絵とゴッホ」 ・東洋・西洋文化の独自性や共通性を理解する。 「レオナルドの目」 ・レオナルドが残した作品を通して、現代文化に与えた影響を考える。 「美術館に行こう」「現代の美術1」「現代の美術2」 ・様々な美術作品を鑑賞し、時代的な背景を理解する。 ・美術が国際理解や親善に果たす役割に気づく。
	外国のともだちのえを鑑賞することを通して、その国の生活や文化に触れる。						作品を見ることに興味をもつとともに、世界の伝統的な工芸・芸術作品に用いられているさまざまな技法を理解し、その作品の素晴らしさに触れる。	
協力・協調	「あむ・おる楽しさ」						「焼き物をつくろう」	
		「生きかえるぞいろう」 ・石、小枝や廃材を利用して造形活動をする。	「ふしぎな生き物」 ・石、小枝や廃材の特徴を生かした作品を作る。	「アルミかんの変身」 ・身のまわりに廃材が多くあることに気づき、それらを利用して作品を作る。	「東西の交流」 ・日本と外国の美術文化が、互いに交流し合っていることに気づく。 「宇宙との交信」 ・廃材の再利用の仕方を考えたり、それらの特徴を生かした作品を作ったりする。	「紙でつくる」 ・古紙を利用した作品づくりを通して、リサイクルの在り方を考える。	「凹版の技法を生かして」「頭像をつくる」「金属でつくる」「レリーフで表す」	

別表11 中学校英語科における国際理解教育のための指導計画（案）

<教材の選定基準について>

英語科では、学習指導要領の全体目標に国際理解教育に関する内容が記述されている。従って、教科のねらいを達成することが国際理解教育につながる。教材の選定は、県内での使用状況を考慮し、「東京書籍（平成5年度用）」の教科書を参照しながら、学習指導要領、「国際理解教育指導資料」（兵庫県教育委員会 平成4年）及び別表1を基準として行った。

	中学1学年	中学2学年	中学3学年
文化・伝統	<p>LESSON 6 ハンバーガーショップで（英語になった日本語）</p> <ul style="list-style-type: none"> 食物やスポーツだけでなく、日本社会の特徴等について関心をもつ。 <p>LESSON 7 折り紙できるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本や諸外国の伝統的な遊びに関心を持ち、大切にすることを育む。 <p>LESSON 8 マイクのお母さんとお父さん</p> <ul style="list-style-type: none"> マイクの家での様子を学び、日本との違い等について考える。 <p>LET'S READ 2 よくばりライオン</p> <ul style="list-style-type: none"> わが国を含め諸外国の格言や諺を学び、共通性に目を向ける。 	<p>BODY LANGUAGE</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸外国のジェスチャーに関心を持ち、日本のジェスチャーとの共通点や相違点を理解する。 <p>LET'S READ 1 Meta and the Bear</p> <ul style="list-style-type: none"> イヌイットに伝わる民話を通して、イヌイットの人々の心情に触れるとともに、民話に関心を持ち大切にしていこうとする。 <p>LESSON 6 Tim, the Translator</p> <ul style="list-style-type: none"> 民族性の違いにより表現方法に違いがあることを知り、それぞれの表現の背景にある人々の思いや願いを理解する。 <p>LET'S READ 2 A Funny Job</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の意味をもつ単語についてその由来を考え、言葉の成り立ちについて関心をもつ。 <p>LET'S READ 3 Asia</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア諸国の文化や自然に目を向け、そこで暮らす人々の生活に関心を持ちそれぞれの文化を尊重する態度を身につける。 	<p>LESSON 2 Talking to a Visitor</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸外国の子供たちの学校生活に関心をもつ。 <p>LESSON 3 Ken's Japanese Word Processor</p> <ul style="list-style-type: none"> 和製英語の学習を通して、英語圏の人々に通じない言葉があることを知り、言葉の成り立ちや変化などについて関心をもつ。 <p>LESSON 6 The History of Rock Music</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なった素晴らしい文化と文化の出会いから、新しい文化が生まれることを理解する。 <p>LET'S READ 2 Opinions of Teenagers from Abroad</p> <ul style="list-style-type: none"> 国によって時間に対する感覚の違いがあることを理解し、自分たちの生活を見直す。（フェルナンド・カルロス、ブラジル、ブレネリ・ダドラー、スイス） 多言語社会、公用語の役割等の学習を通して民族固有の文化の尊重、及び公用語の重要性等について理解する。（ラージ・ネール、インド） <p>LESSON 7 Great Views of the World</p> <ul style="list-style-type: none"> アボリジニーの文化を学び、そのすばらしさを理解する（アイヌ等その他の先住民族にも関心を広げる）。 世界の文化遺産に関心を持ち、保存していくことの大切さに気づく。 <p>LESSON 8 International Week</p> <ul style="list-style-type: none"> 各国の伝統的な衣装に関心をもつ。 俳句が外国に伝わり、英語でも表現できることを知り、人間としての共通の思いや願いを理解する。 各国の伝統的な踊りに関心を持ち、その由来や意味を知り、人間としての共通の思いや願いを理解する。
協力・協調	<p>LET'S READ 1 ぼくの国、シンガポール</p> <ul style="list-style-type: none"> 多民族が協力して一つの共生社会を築いていることを知り、協調することの大切さを理解する。 	<p>LESSON 5 What can Science Do for Us ?</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口問題等、地球的規模の共通課題を実感し、課題解決に向けて考える。 <p>LESSON 9 A Listener</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の重要性を知り、各国で活躍するボランティア活動に関心をもつ。 <p>LET'S READ 3 Asia</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア諸国と日本の関係について関心を持ち、望ましい相互協力について考える。 	<p>LET'S READ 1 A Mother's Lullaby</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争の悲惨さに気づき、平和の尊さについて考える。 <p>LET'S READ 2 Opinions of Teenagers from Abroad(エバ・ローゼン、オランダ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「アンネの日記」を通して、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考える。 <p>LET'S READ 3 The Earth in Danger</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球的規模の環境問題等、今人類が直面している重要課題を知り、課題解決に向けてできることを考える。